

2015年度 京都4大学連携研究支援費による共同研究 公開研究会

近代化と地域社会の変容

—京都地域と丹後地域を事例に—

日時：2015年11月7日（土）午後1時～6時

場所：京都薬科大学 愛学館 A21 講義室

*予約不要・参加無料

開会の辞

鈴木 栄樹氏（京都薬科大学 教授）*共同研究代表者

「幕末京都の「賑わい策」—鴨川浚え・四条大橋新造・湖北通船路開削」

小野 芳朗氏（京都工芸繊維大学大学院 教授）

「近代御所用水の防火と水利—京都盆地の水は誰のものか」

中川 理氏（京都工芸繊維大学大学院 教授）*共同研究者

「京都と土木技師—京都市と舞鶴に見る技師の役割」

坂根 嘉弘氏（広島修道大学 教授）

「舞鶴軍港と地域社会の変容」

飯塚 一幸氏（大阪大学大学院 教授）

「「裏日本」化のなかの宮津」

小林 啓治氏（京都府立大学大学院 教授）*共同研究者

「役場文書からみた戦時体制—丹後地域の事例から」

質疑応答

閉会の辞

★ 本研究は、京都薬科大学ほか京都府立大学・京都工芸繊維大学・京都府立医科大学の4大学が、相乗的な教育・研究成果や学生への魅力発信に繋げていくために、教員間の共同研究を支援することにより、教員間交流の促進や研究の質の向上を図り、研究成果の地域への還元等を目指すものです。今回、ヘルスサイエンス以外の研究分野として本研究が支援費を交付されました。

《問い合わせ先》

京都市山科区御陵中内町5

京都薬科大学 基礎科学系一般教育分野 教授 鈴木 栄樹

szk83861@mb.kyoto-phu.ac.jp

075-595-4600（代表）